

本読めばパツと心に花が咲く

# 花矢図書館だより

12  
2024

## おすすめ 新着図書

### 一般書

- 今すぐできる心の守りかた (服部 信子)
- 夫と妻の70歳75歳からのお金と手続き
- 最新子連れ防災BOOK (富川 万美)
- おいしく食べられる身近な野草・雑草図鑑 (岩槻 秀明)
- うちの子、ゲームして動画ばかり見えますけど大丈夫ですか!?(アベナオミ)
- 腎臓病「食べてよいもの・控えたいもの」大全 (富野 康日己)
- 実家の片づけ親とモメない「話し方」 (渡部 亜矢)
- 恋はいつも少し足りない (神田 滯)
- アガシラと黒塗りの村 (小寺 無人)
- ミステリ・トランスミッター (斜線堂 有紀) 他

### 児童書

- 納豆のひみつ (小室 栄子)
- 地球の不思議 (林 信太郎)
- 10分でイベントスイーツ 秋 (木村 遥)
- 破ると怖い海の6つのルール (ウェルザード)
- いちにちじゅうおばけずかん (斉藤 洋)
- 【絵本】 アンパンマンとモグとモク (やなせ たかし)
- 【絵本】 おつきさまのりんご (乾 米里子)
- 【絵本】 くまたのびっくりだいさくせん (柴田 ケイコ)
- 【絵本】 はばたいたふとん (サトシン)
- 【絵本】 ぷうぷうとごみくじら (はら まさかず) 他

## 今月のスタッフいちおし!

### 一般 『三行怪々』 大濱 普美子 著

#### たった三行なのに怖い! 怖過ぎる!

いいこだね。隣に丸くなったタマを撫ぜる。ミャアと言う声に顔を上げると、猫は棚の上にいる。今抱いている毛の塊は、一体なんだろう。(本文より)

嘘か誠か? 著者本人は「百文字病」なるものにかかってしまったらしい…。三行・百文字ほどで語られる奇々怪々な二百篇もの幻想譚。綴る文字は少なくとも、そこには奇妙な恐怖が絶対的に存在しているのです…。

著者初の魅惑のショートショート集です。ぜひどうぞ…

### 児童 『ドアのむこうの国へのパスポート』 トンケ・ドラフト&リンデルト・クロムハウト 著

#### ドアのむこうには何がある?

作家であるラヴィニア・アケノミョージョの家には、“なぞめいたドア”がある。そのドアのむこうには、特別なパスポートを持った人しか入れない。主人公のラウレンゾーをはじめとするマックス・ベルジュイス小学校のトム先生のクラスの子どもたちは、作家から届く「課題」にチャレンジしながら、仲間や自分を深く知っていく…。

はたして、ドアのむこうにあったのは——? オランダの人気児童文学作家二人による、子どもたちへのエールに満ちた心温まる物語です。

## お知らせコーナー

冬は  
こたつで  
読書だね!

### 今月のテーマ展示は…

#### 大人向け

#### 『ごちそうメニュー』

記念日や特別な日じゃなくても、ごちそうを食べちゃっていいんです!

#### 子ども向け

#### 『ステキなおくりもの』

あなたにとって、いちばんうれしいおくりものはなんですか?

花矢図書館では  
楽しいクリスマス  
イベントをやってるよ♪  
みんな来てね!

## クリスマス特別企画 開催中!

期間:12月1日(日)~12月25日(水)

日替わりでおすすめの本をご紹介♪

### 『アドベントカレンダー』

本を借りてツリーを完成させよう!

### 『クリスマスツリーを飾ろう♪』